

マンガで解説!

ギャンブル依存症

Vol.2



一般財団法人

ギャンブル依存症予防回復支援センター

はじめに

「ギャンブル依存症」と聞いてどんなイメージを思い浮かべますか？

毎日ギャンブル漬けの生活を送っている人でしょうか。

ギャンブルが大好きで、いつもギャンブルの話ばかりしている人でしょうか。

実は、『ギャンブルが好きで毎日ギャンブルをしている人』が必ずしも、ギャンブル依存症というわけではありません。

単にギャンブルをやり過ぎたという話ではありません。では単なるギャンブルマニアと依存症はどこが違うのでしょうか？

本書では、4コママンガでわかりやすく「ギャンブル依存症」の症状をご紹介します。

是非「ギャンブル依存症」への理解を深めていただけましたら幸いです。

目次

ギャンブル依存症って？ 2

■漫画で解説！ギャンブル依存症 Vol.2

証拠を隠す	3
家族と口論になる	4
借りた金でギャンブルをする	5
仕事をサボる	6
ギャンブルによる借金を立て替える	7
家族の持ち物を売ってギャンブル代にする	8
ギャンブルによって家族の心を傷つける	9
借金の取り立てにいつも悩まされる	10
ギャンブルを辞めるという約束を守れない	11
ごまかしてギャンブル代を工面する	12
ま と め	13

■付 録

- ・支援センターについて
- ・サポートコールに電話をすると？
- ・サポートコールについて
- ・各相談機関のご案内

ギャンブル依存症って？

・定義

ギャンブル等依存症対策基本法によると「パチンコや公営競技のような賭け事にのめりこむことにより日常生活又は社会生活に支障が生じている状態」と定義されています。

・症状

「賭けることを楽しむ」という当初の健全な動機が別の動機にすり替わることが発症の引き金です。すり替わる動機としては次の4項目が挙げられます。

- ①負けを取り戻す(負け追い)
- ②より強い興奮を味わう
- ③イライラ・ゆううつ感を解消する
- ④賭けていると落ち着く

これらの動機には「楽しくなくなった(飽きた)から止める」という自然の歯止めが効きません。それゆえ遅かれ早かれ、

- ⑤ギャンブルに関することが頭から離れない
- ⑥上手に加減できない

というとらわれの状態に陥ります。その結果、

- ⑦ギャンブル関連の嘘
- ⑧大切な人間関係の危機
- ⑨ギャンブルを原因とした借金

が生じます。

☆上記①～⑨の9項目は DSM5 (アメリカ精神医学会作成診断基準) に対応しています。

証拠を隠す



状態の解説



妻に内緒でギャンブルをしていましたが、その証拠を持ち帰ってきてしまいました。

そこへ、予定よりも早く妻が帰宅。慌てて証拠を本棚に隠しますが、後日、妻に見つかってしまいます。

ポイント



なぜ隠すのでしょうか？本当に楽しんでいのであれば、言い訳しながらでも、ギャンブルが自分にとってどれほど必要かを家族に言い続けるはず。隠さず「ギャンブルが自分にとって大切であること」をアピールすればいいわけです。

もしかしたら「隠す」という行為、特に発見される可能性のある場所にあえて証拠物を隠す（置く）ということは、本人自身にギャンブルを続ける自信がなくなってきているのかもしれませんが。本人自身が「やりたいのか」あるいは「やめたいのか」が分からなくなっているのでしょう。

そうであるならば、本心は家族にみつけてもらって止めてもらいたいのかもしれません。

家族と口論になる



状態の解説



またギャンブルに行こうとして妻に注意され、身勝手な言い訳をして喧嘩になってしまいます。

毎回同じことの繰り返しで、喧嘩になるため、子供にも呆れられています。

ポイント



ギャンブルをすることが本当に楽しいことであれば、「またギャンブルでしょ」と非難がましく言われても(たとえ罵られても)、「悪いねーエへへ」とでも言いながら、いそいそと出かければいいでしょう。

少なくとも本気で口論する必要はありません。ただ遅かれ早かれ愛想はつかされるでしょうが…。にもかかわらず、怒りながら「俺の金で」や「仕事のストレスで」などの言い訳を一生懸命してしまうのは、自分自身も後ろめたさ、いわゆる罪悪感があるからです。

残念ながら、もうギャンブルを心から楽しめなくなっているのではないのでしょうか? そうであれば、そのことを受け入れなくては いけません。

借りた金でギャンブルをする



状態の解説



給料日になったら返すと約束して友人に借りたお金をギャンブルにつぎ込んでしまいます。

結局、給料日にお金を返すことができず、友人からの信用を無くしてしまいます。

ポイント



ギャンブルで負けることは単なる金の損失に過ぎません。人間的な価値や才能とは無関係です。

しかし、損失の繰り返しは否が応でも自己価値観の低下を招きます。この時、担保なしの「借り入れ体験」は自分の価値が高められた錯覚を与えてくれます。このように「取り戻すための軍資金」などの理由付けをしつつも、借金の本当の目的が自己の価値の確認行為となっています。

それゆえ借りた金自体に対する有難みは乏しいので、湯水のような無駄な使い方になってしまいます。

口では「取り戻すため」と言いながらも、情報と確率論に基づいた堅実かつ丁寧なギャンブルではありません。

ギャンブルによる借金を立て替える



状態の解説



ギャンブルで多額の借金をし、返済の目途が立たなくなっています。追い詰められた息子は、とうとう父親に打ち明けます。

父親は、怒りながらも「今回だけ」との約束で借金を立て替えます。父親の気持ちをよそに、息子は借金がなくなったことを喜んでいきます。

ポイント



ギャンブルに限らず、親が借金の肩代わりをすることは本人が社会的解決能力を獲得するせっかくのチャンスを奪う事になります。

債権者、あるいは司法担当者に相對して、きちんと謝罪し、妥協点を探るといふ社会的成長の機会を奪う事です。

借金の肩代わりなどは過保護行為以外何物でもありません。親の役割は叱ることではなく、「きちんと頭を下げるなどの対処したことを最大限に褒めること」です。それが大人になった子供への愛情です。

どうしても心配ということであれば、叱った後「甘やかして申し訳ない」と子供にしっかり伝えてから立替払いをしてあげてください。

家族の持ち物を売ってギャンブル代にする



状態の解説



ある日、大切にしていたブランド物のカバンが無くなっていることに気付いた妻。

その後も度々ものが無くなっていることを不審に思っていました。ある夜、物音に目を覚まします。

すると夫がギャンブルのために自分の大切なものを物色する現場を目撃してしまいます。

ポイント



家庭内窃盗に関しては、本人はあまり自覚がありません。ギャンブルにのめり込んでいる人にとっては手の届くところにある現金、およびそれに類する物（換金可能な物品、通帳等）を目にすることはギャンブルの呼び水です。

アルコール依存を抱えて断酒している家族がいる家庭では無造作に酒ビンを置くことはないと思います。信用するかしないかの問題ではなく、本人が葛藤で苦しまないための配慮が必要です。

したがって、これらのものを本人の目のつかない場所に保管しておくのが本人への優しさです。

ギャンブルによって家族の心を傷つける



状態の解説



子供のピアノの発表会に夫は後で合流すると約束をします。

予定の時間よりも早く着きそうだったため、時間つぶしに入ったパチンコ屋で、思いがけずに大当たり。

約束の時間が迫っていますが、それを守らずにパチンコを続け、家族を悲しませてしまいます。

ポイント



「時間つぶし」の目的でギャンブルができる人は「当たりはずれ」にはこだわらなくなったギャンブラーに限られます。いわゆる熱の冷めかけた方です。

しかし、このマンガのようにのめり込んでいる人は終了時間を決めてギャンブルをすることは困難です。止め時(勝ち逃げor 損切り)は自分の都合ではなく、その時のその場の流れで決まるからです。

それゆえ予定のない完全な自由時間でのみギャンブルをすべきです。そうでないと家族や周囲から何の期待もされない存在になってしまいます。

借金の取り立てにいつも悩まされる



状態の解説



借金の取り立てに悩まされ、返済のために、さらに別の金融機関でお金を借りようとしますが、必要な金額を借りられませんでした。

困った挙げ句、そのお金を元手にギャンブルで増やそうと思いつちます。

ポイント



一時的逃避を目的に、ギャンブルを利用して、返済能力を超えた債務であることは本人も気づいています。「清算できたらどんなに楽だろう」と思っているでしょうが、債務整理手続きに向けて、今一步が踏み出せません。

それは羞恥心、あるいはプライドのためでしょうか。ただ本当に返済困難であるなら、恥じる必要はありません。

返済が滞ったことは借入時の判断ミスかもしれませんが、人間的価値とは無関係です。一切を隠さず、債務整理手続きを司法書士等の法律専門家に委ねましょう。

お住まいの都道府県司法書士協会等にお問い合わせください。

ギャンブルを辞めるという約束を守れない



状態の解説



ギャンブルが原因で離婚を宣告されてしまいます。

何とか免れようとギャンブルを辞める約束をし、一旦は危機を回避しますが、後日、約束を破りギャンブルを始めたことがバレて、愛想を尽かされてしまいます。

ポイント



一般的に「〇〇をしない」という約束は守りにくいものです。

なぜなら「しない(してない)」ことの確認は昼夜問わず監視が必要だからです。現実的には不可能です。

更に、安易に何回でも口にできる言葉だけのことから、加えて「できない理由」は「できる理由」より見つけやすいものです。そして、その結果、疑心暗鬼しかもたらしません。それよりも「〇〇をする」という約束を増やしてゆきましょう。「家事を分担する」「休日には買い物に付き合う」など、できることを前もって決めておくことです。

信頼関係の回復は目に見えない「してないこと」ではなく、目に見える「したこと」で積み重ねるしがありません。

まとめ



今回は、支援センターのサポートコールによくある相談の事例を中心に紹介しました。

今回のマンガは借金やお金に関わるお話が多かったように思いますが、実際にそういった相談が多いのでしょうか？



支援センターのサポートコールに相談がある方の6~7割程度は、お金にまつわる内容が含まれます。ギャンブル依存症でお金の問題にも不安のある方については、依存症そのものの治療や対処が必要ともなりますが、それと同時に金銭の問題についても対処しないと、なかなか思うように進まない場合もあります。

ギャンブル依存症で借金の返済などに不安がある場合はどうしたら良いのでしょうか？



まずはサポートコールへご相談ください。カウンセラーとお話しいただいた上で、今後の方針を決めていくのがよいでしょう。お金の管理や借金の返済方法などは、司法書士等の法律の専門家の方にご相談いただいても良いかと思います。

サポートコールへの相談は、どのジャンルのギャンブルに対してでも良いのでしょうか？



サポートコールについては、パチンコ・スロットや公営競技の他に、株やFXについても相談可能です。

また、最近はスマートフォンを使ったギャンブルのやりすぎに対する相談も増えています。ご心配事があれば、まずは一度、支援センターが運営している**サポートコール ☎0120-683-705 (24時間365日通話料・相談料無料)**にご相談することをお勧めします。



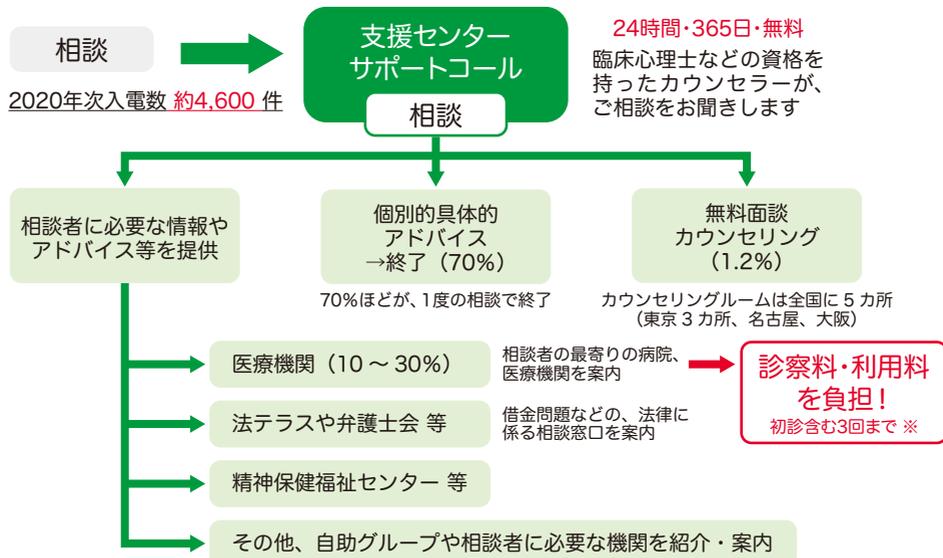
支援センターについて

一般財団法人ギャンブル依存症予防回復支援センターは2017年6月30日にギャンブル等依存症に係る調査研究、予防回復支援、情報提供等を行うことで、我が国の公益増進に寄与することを目的として設立され、次の事業を行っています。

- ・ギャンブル等依存症に係る調査研究
- ・ギャンブル等依存症に係る予防回復支援
- ・ギャンブル等依存症に係る情報提供
- ・その他、当団体の目的に達成するために必要な事業

具体的には、24時間365日無料で相談を受け付けている「サポートコール」の運営、一般・事業者向けのセミナー、研修会の開催を行っています。

サポートコールに電話をすると？



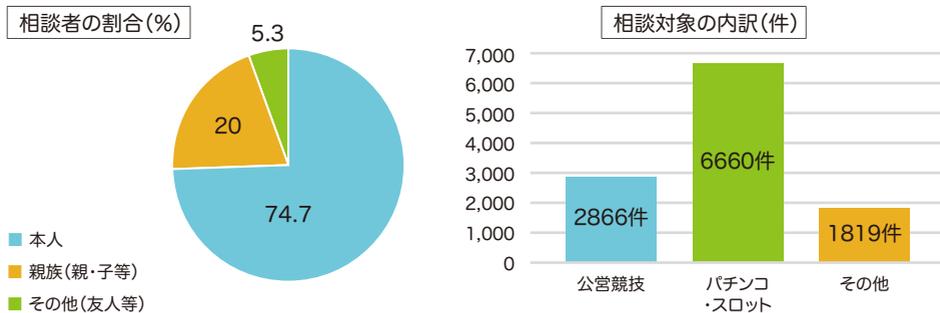
※ サポートコールにて案内した医療機関、施設等を利用された方で、受診・利用後に申請書を支援センターへご提出いただいた方は、内容を確認後、指定された口座に「診察料・利用料」をお振込み致します。

詳しくはサポートコール相談時にお問合せ下さい。

サポートコールについて

サポートコールには、法律等で定められているギャンブル等（公営競技、パチンコ・スロット）に関する相談のほか、宝くじ、スマホ（ソーシャルゲーム・課金）、株、FX、オンラインカジノなど、様々な相談が寄せられています。

また、ご本人はもちろんのこと、ご家族、ご友人の方からの相談も受け付けております。



2017年10月～2021年1月までの累計



ギャンブルの問題でお悩みなら・・・
一人で悩まず、まずは相談してみましょう。



保健・医療関係の機関	
都道府県及び政令指定都市の精神保健福祉センター	
保健所	
自助グループ	
GA 日本インフォメーションセンター（当事者）	
一般社団法人ギャマノン日本サービスオフィス（家族・友人）	出典： 消費者庁ウェブサイト
借金問題を相談する窓口	
多重債務者向け相談窓口（各地方ブロックの財務局内）	

どこに行けばわからない、とりあえず話を聞いてほしい
といった場合は、当センターサポートコールにご相談ください。



一般財団法人

ギャンブル依存症予防回復支援センター



0120-683-705

24時間
365日
相談無料

ギャンブル依存症予防

検索

<http://www.gaprsc.or.jp/>



マンガで解説！ギャンブル依存症 Vol2

制作・発行 一般財団法人ギャンブル依存症予防回復支援センター
監修 河本泰信（医療法人社団正心会よしの病院 副院長、精神科専門医）

本誌掲載の記事、漫画の無断複写、複製、転載を禁じます。